

平成 31 年4月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

平成 31 年(2019 年)4月 22 日(月) 午前8時 56 分から午前 10 時 48 分まで

2 場 所

中央公民館 応接室

3 議 題

(1)協議(審議・検討)

議案第 10 号 東御市児童クラブ運営要綱の改正について

議案第 11 号 東御市子育て支援審議会委員の選出について

(2)報告

ア 教育委員会からの各委員委嘱と職員名簿一覧について

(ア)教育課関係

- ・学校教育係
- ・青少年教育係
- ・文化財係

(イ)生涯学習課関係

- ・社会教育・公民館係
- ・図書館係

(ウ)職員名簿(学校職員含む)

(エ)東御市教育委員会・学校関係緊急連絡先

イ 3月定例議会における教育委員会案件について

ウ 平成 30 年度3月専決補正予算について

エ 平成 31 年度東御市重点事業(第二次東御市総合計画)について

オ 平成 31 年度長野県教育委員会基本方針について

カ 4月 16 日文部科学省所管会計実地検査の受検結果について

キ 教育課

(ア)平成 30 年度いじめ・不登校の状況等について

(イ)平成 30 年度中学3年生進路状況について

(ウ)平成 31 年度東御市教育重点4項目について

(エ)ふれあい教室の活動概要について

4 出席者

○教育長 小 山 隆 文

○委 員

教育長職務代理者 下 村 征 子

委 員 小 林 経 明

委 員 小 林 利 佳

委 員 直 井 良 一

○その他

小林教育次長、柳沢教育課長

小林学校教育係長、土屋青少年教育係長、

畑田指導主事、長岡指導主事、斉藤中間教室指導員、大塚学校教育係主査、唐澤学校教育係主査

会議録

小林教育次長

ただいまから、4月定例教育委員会を始めます。教育長から開会宣言をお願いします。

小山教育長

4月定例教育委員会の開会を宣言します。

資料に沿って6点ほどお話をさせていただきます。お話をさせていただく観点で学校や子ども達、先生方の様子を見ていただけるとありがたいと思います。

1点目、他市町村においていじめによる小5女子児童と中3女子生徒の自殺がありました。学校や教員の不適切な対応や、教育委員会の問題が露呈した感があります。現在、学校で進めている生活アンケートの意味を再確認するとともに、子どもに寄り添い小さな変化でも気づいたら、報告、連絡、相談をするよう、今週末の校長会でも改めて検討をお願いしてまいります。

2点目、英語についてであります。文部科学省の調査結果が公表されましたが、ポイントが高かった県は、全国学力テストにおいて上位の県と共通しています。各先生方に、英語教育の困難さがどこにあるのか、校長先生を経由してお聞きしていきたいと考えております。

3点目、教員のわいせつ事案の公表についてであります。県教育委員会の検討委員会で、再発防止策やわいせつ事案の公表の在り方について議論がされ、これまで原則公表していた加害者の勤務校がある地区名や職位などについて、被害者の特定につながる恐れがある場合は公表しない。また、再発防止策として、子どもへの暴力防止を目的とした人権教育プログラムCAPの専門家による参加型講習会への教員参加を行う方向で確認したとのことです。県教育委員会からの情報を確認しながら、教育委員の皆様方からの意見や要望がありましたら、県との懇談で伝えてまいります。

4点目、東信美術展について、美術部を中心に中学生にも参加してもらいたいとお願いしていきたいと思っております。

5点目の放課後子ども塾であります。後ほど土屋青少年教育係長から説明がありますが、4月27日水曜日に田中小学校からスタートします。

6点目であります。小学校高学年の教科担任制について、北御牧小学校では積極的に取り組んでいただいておりますが、今後の情報を注視しながら、できることから得意分野を活かした教科指導につなげられればよいのではないかと考えています。

(1)協議(審議・検討)

小山教育長

議案第10号 東御市児童クラブ運営要綱の改正について、説明を求めます。

土屋青少年教育係長

東御市児童クラブ運営要綱の改正について、説明します。(資料説明)

小山教育長

田中小学校に2名待機児童があるとのことですが、解消はできそうでしょうか。

土屋青少年教育係長

すぐの解消は難しい状況です。民間の児童クラブも斡旋していますが、そちらへ行かれる様子はないので、現状は家庭で対応いただいている状況のようです。

小山教育長

議案第10号 東御市児童クラブ運営要綱の改正について、異議ありませんでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

議案第10号 東御市児童クラブ運営要綱の改正について、確認されました。

続きまして、議案第11号 東御市子育て支援審議会委員の選出について、説明を求めます。

小林学校教育係長

東御市子育て支援審議会委員の選出について、説明します。

今年度から平成33年3月31日までの2年任期で、1名の選出を求められております。昨年度までは、小林利佳委員にお願いしておりました。

小山教育長

ご意見をお願いします。

下村委員

引き続き、小林利佳委員にお願いしてはいかがでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

全委員に承認されました。小林利佳委員にお願いいたします。

小林利佳委員

お受けいたします。

小山教育長

(2)報告に移ります。順次報告願います。

柳沢教育課長

ア 教育委員会からの各委員委嘱と職員名簿一覧について報告します。

(資料説明)

直井委員

年度初めに、教育委員の地区の担当を決めてはどうでしょうか。

小林利佳委員

例年は、5月の任命式後に決めていたように思います。

小山教育長

5月の任命式後に改めて、地区の担当を決めることとし、それまでは現行どおりでよいでしょうか。

全委員

異議なし。

小林教育次長

イ 3月定例議会における教育委員会案件について報告します。

(資料説明)

柳沢課長

ウ 平成30年度3月専決補正予算について報告します。

(資料説明)

小林教育次長

エ 平成 31 年度東御市重点事業(第二次東御市総合計画)について報告します。

(資料説明)

小山教育長

オ 平成 31 年度長野県教育委員会基本方針については、午後に東信教育事務所で行われる市町村教育委員会説明会議で説明があると思いますが、県の方針を十分加味しながら、市も同じ方向性で進めてまいります。

柳沢教育課長

カ 4月 16 日文部科学省所管会計実地検査の受検結果について報告します。

(資料説明)

長岡指導主事

キ 教育課の(ア)平成 30 年度いじめ・不登校の状況等について報告します。

3月末現在の不登校等の児童生徒の状況及びいじめ・いじめと思われる把握件数集計表と、平成 30 年度の年間集計表は資料のとおりです。

(説明内容 非公開)

下村教育委員

東部中学校の校長先生が始業式でお話をされていた SSR(スペシャル サポート ルーム)が機能すれば、不登校生徒が減るのではないかと期待されますが、4月からスタートした状況は学校から報告はありますか。

小山教育長

具体的な報告はございません。原級へ戻るという目標に向けて、学習を基本として支援をしていく教室にしていくとお聞きしております。

畑田指導主事

受容的な対応が必要な生徒は心の教室相談員が対応し、SSR は学習の場として、原級への復帰を支援する教室にしていくと聞いております。

下村教育委員

授業中に疑問があったら SSR で質問できるような、不登校になりそうな生徒に対して、間口を広くして受け入れてほしいと思いますが、いかがでしょうか。

畑田指導主事

原級の担任には分かりやすい授業を心掛けてもらい、授業が分からない児童生徒を出さないことが基本ですが、原級だけでは対応が難しい場合は、担任や担当する職員が、どのようにすれば原級へ復帰できるかをしっかり話し合い方針を決めたうえで、SSRを利用するという手順をとるようです。

また、市費で学力向上支援員も配置していますので、不登校になりそうな教科は少人数学習を組み、分からなかったところを質問できるような体制はとれると思います。

小林経明委員

先生全体の意識の改革とともに、学年で核になる先生の育成も必要だと感じます。

小山教育長

学校内で中核組織を作ってもらい、校長、教頭も含めた形で、具体的な関わり方を情報共有するなど、子どもに寄り添える支援策を出していく必要があると思います。

長岡指導主事

担任をはじめ、学校全体が不登校の子どもを大事な一人として受け入れ、手を差し伸べて、どのように心をつないでいくかが一番大事なことだと感じます。

小山教育長

環境を変えること、指導する先生方の意識を変えることで、少しずつ改革を進めていただいていると感じています。また、市教育委員会も長岡指導主事を中心に学校へ訪問し、課題を共有することが学校の支援や刺激になると考えています。様子を見ていただき、ご意見等をいただけるとありがたいです。

学習に関しては、中学校だけでなく、小学校高学年の学習が中学校の学習の基盤になります。小学校ではそういったところも大事にさせていただきたいので、校長会でも話題にしていきたいと思っています。

畑田指導主事

(イ)平成 30 年度中学3年生進路状況について報告します。

(説明内容 非公開)

長岡指導主事

(ウ)平成 31 年度東御市教育重点4項目について報告します。

平成 31 年度は、①授業力の向上による子どもたちが主体的に学ぶ授業づくり、②いじめの根絶への取り組み、③不登校の未然防止への取り組み、④インクルーシブ教育の推進を重点4項

目として、取り組んでまいります。

齊藤中間教室指導員

(エ)ふれあい教室の活動概要について報告します。

平成30年度から週3日ふれあい教室指導員として勤務するとともに、青少年支援チーム事務局としても子ども達に関わることで、義務教育期から義務教育卒業後の子ども達の継続的な支援を行っています。

(説明内容 非公開)

小林経明委員

週3日で業務は間に合っていますか。

齊藤中間教室指導員

現在は支援をしている子ども達が毎日来室することはできないので対応可能ですが、毎日来られるようになったり、もっと多くの児童生徒が来室されるようになると、対応は難しくなると思います。

小山教育長

より多くの皆様の支援をいただきながら、充実した支援ができる方法が必要だと考えています。

本日の議題は以上です。4月定例教育委員会を閉じさせていただきます。